

教科教育学コンソーシアム・第6回シンポジウム「各教科のビッグアイデアとは何か」
2026年3月8日（日）13:30-16:30@広島大学教育学部棟B101（オンライン併用）

【発表題目】

社会科におけるビッグアイデアとは何か

-カナダの社会科（歴史）カリキュラムを参照モデルとして-

たまい しんや
全国社会科教育学会 報告者：玉井 慎也（北海道教育大学）
【連絡先：tamai.shinya@k.hokkyoda.ac.jp】

要旨：中村先生の論点整理への回答に代えて

論点1：社会科では何がビッグアイデアと見なされるのか？

- **内容知か，方法知か？** ➡カナダではほとんどが「(マクロな)内容知」を指す。一部，方法知を含み込んだ「(統合的な)理解」として表現する場合もある。
- **ビッグか，スモールか？** ➡特定の教科・教室にとどまらず，他教科でも，そして責任ある活動的な民主的市民として生活する上でも役立つかどうか。
- **誰のアイデアか？** ➡カナダでは「社会諸科学の世界観(学術的な法則)」とともに，「先住民や移民など社会的マイノリティの世界観(一般論への反例)」が包摂された理解を指していた。ただし，あくまで大人の言葉で表現されていた。

論点3：社会科ではどのようにビッグアイデアが表現されているか？

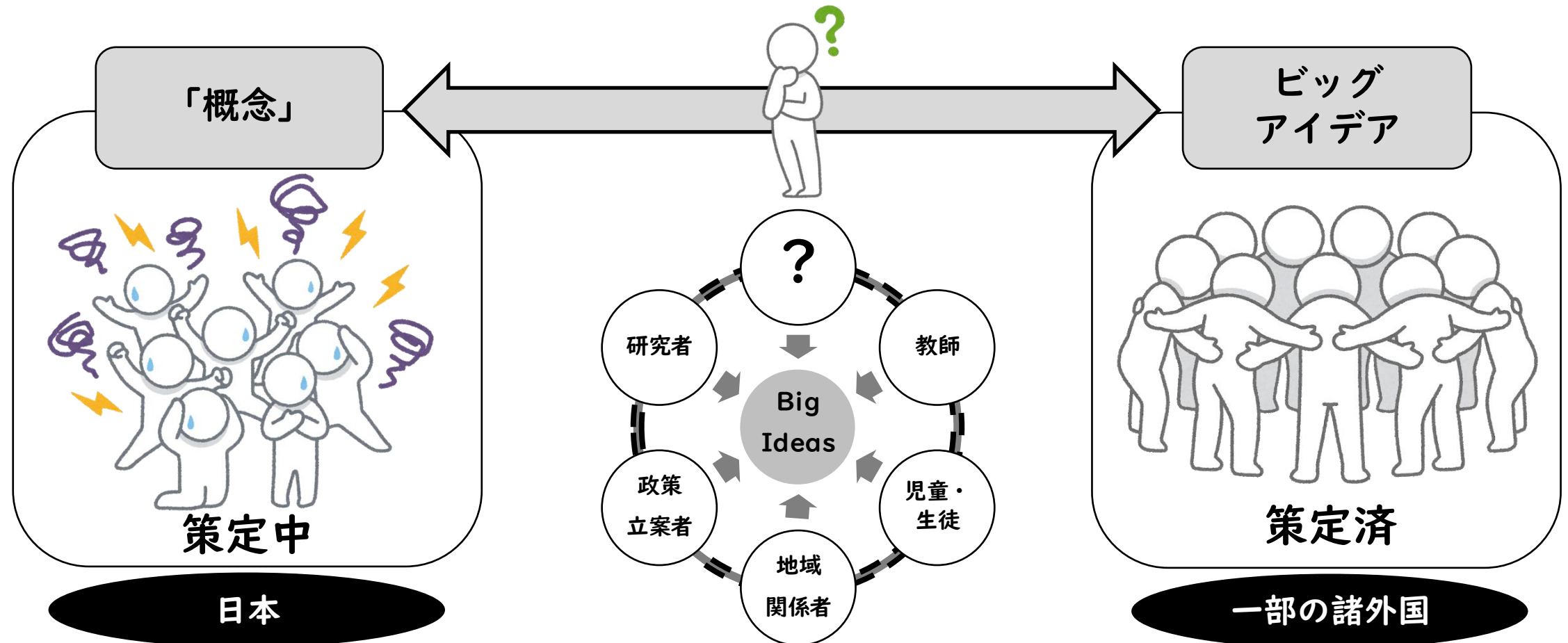
- **単語か，文章か？** ➡カナダでは「文章(短文)」で表現されている。
- **暗示的か，明示的か？** ➡カナダでは教科書導入ページに明示されている。
- **何個あっても良いのか？** ➡カナダでは各学年で3~4つ，中単元で1つ，科目横断的なモジュール単元を構成する際には10程度位置づける傾向があった。

発表構成

- I. **目的**-社会科におけるビッグアイデアとは何か,今のままじゃダメか-
- II. **方法**-カナダの社会科における「ビッグアイデア」との比較-
- III. **結果**-①BC州,②ON州,③MB州,④SSENの場合-
- IV. **考察**-カナダの社会科におけるビッグアイデアとは何か-
- V. **示唆**-日本における「ビッグアイデア」策定に向けた漸進的提案-

1. 目的

社会科におけるビッグアイデアとは何か、今のままじゃダメか



日本の社会科における「概念」の多義性

出典：玉井慎也・高松尚平・渡邊竜平(2021)「社会系科目の「見方・考え方」を束ねる学際的な枠組みの提案」『社会系教科教育学研究』33, pp.61-70.
※以下の引用は玉井ら(2021)の論考から間接的に孫引き

社会系教科教育学会『社会系教科教育学研究』第33号 2021 (pp.61-70)

社会系科目の「見方・考え方」を束ねる学際的な枠組みの提案
— 中学校社会科地理・歴史を事例とした分野横断を目指して —

A Proposal for an Interdisciplinary Framework to Unite the “Concepts” of Each Social Studies Field :
From “Division” to “Crossing” between Geographical and Historical Fields in Junior High School Social
Studies

玉井 慎也・高松 尚平・渡邊 竜平
(広島大学大学院・太宰府市立太宰府西中学校・学校法人静岡理工科大学星陵中学校・高等学校)

キーワード：見方・考え方, 社会的に考えるための概念, 地理的に考えるための概念, 歴史的に考えるための概念

Key Words : discipline-based epistemological approaches, Social Studies Thinking Concepts (SSTCs), Geographical Thinking
Concepts (GTCs), Historical Thinking Concepts (HTCs)

表1 「見方・考え方 (概念)」の類型と潮流

		機能性	
		内容知	方法知
真正性	生活世界	第1類型 (1950年代～)	第2類型 (1960年代～)
	学問世界	第3類型 (1970年代～)	第4類型 (1990年代～)

(筆者作成)

第1類型：生活世界の内容知

「人間生活社会生活に対する見方考え方(文部省, 1951):
学習者は, 水を, 水道水のような実在物, 自治体が組織的に供給する生産物, 住民に等しく供給される公共財, 世界各地の人間の生存を脅かす安全保障上の資源と
いうようにスケールを拡げながら捉えていく(池野, 2013)」

第2類型：生活世界の方法知

「歴史意識: 学習者は, 歴史を主体的に捉える際に, 因果関係, 時代構造, 発展などを意識している(藤井, 1967)」

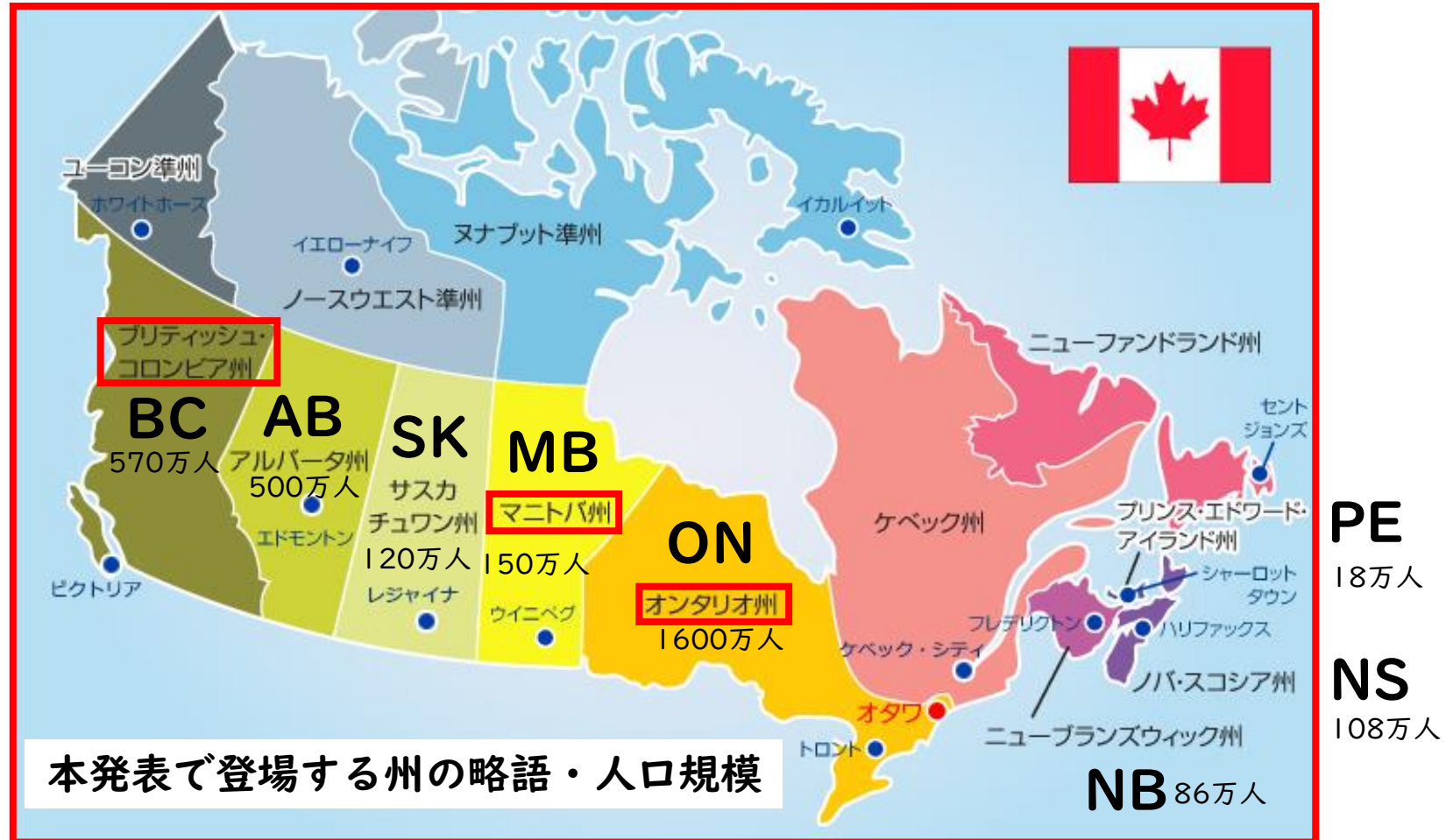
第3類型：学問世界の内容知

「概念的説明的知識: 製鉄業は原材料の輸入に便利で
広い土地が確保できる臨海部に立地する(森分, 1978)」

第4類型：学問世界の方法知

「追究の視点や方法(文部科学省, 2017): 地理の5大テーマ
とは, 位置と分布, 場所, 人間と自然環境との相互依存
関係, 空間的相互依存関係, 地域である(中山, 1991)」

2. 方法



【出典】北海道カナダ協会HP (<https://canada-society.com/about.php>) , 該当州の人口規模を概算で加筆

カナダ社会科カリキュラムの全体動向に見る分析の着眼点

カナダでは、各州独自の「社会科 (Social Studies)」カリキュラムが策定されてきた。近年では、HTPやSSENによる広域共通枠組みの提案が各州のカリキュラムと相互作用をもたらしている。

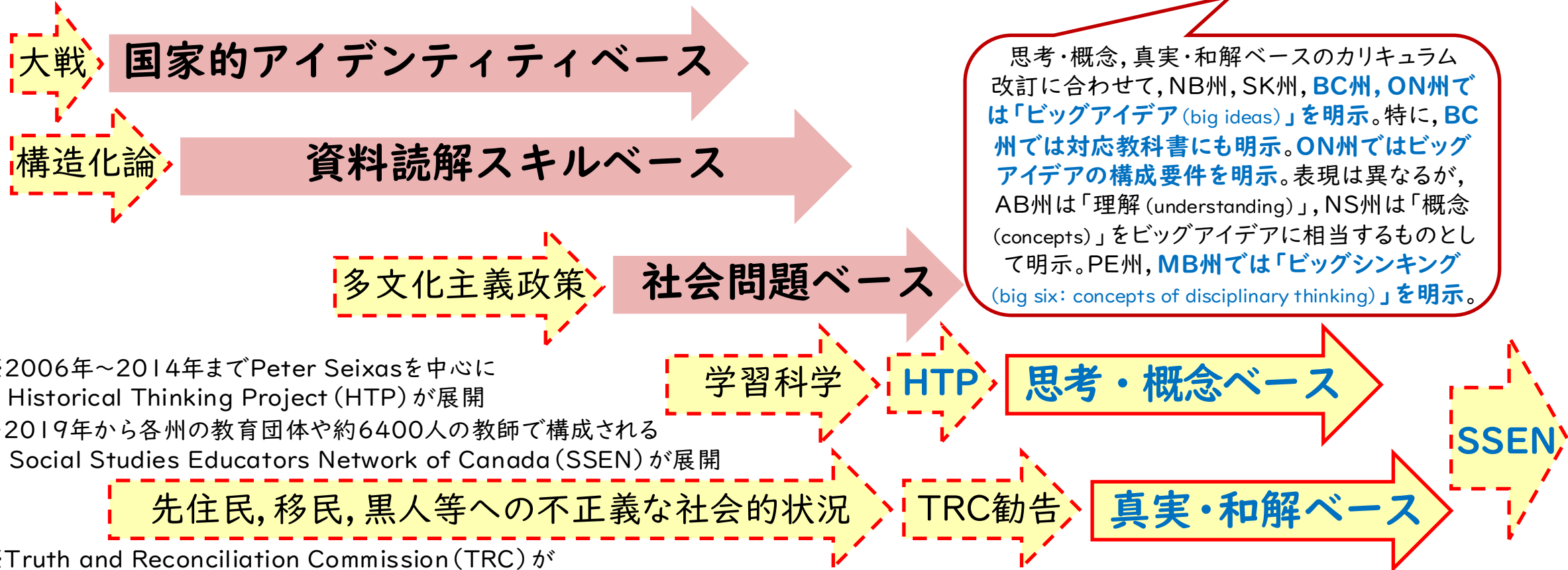
1920年代

1960年代

1990年代

2010年代

2020年代



※2006年～2014年までPeter Seixasを中心に Historical Thinking Project (HTP) が展開

※2019年から各州の教育団体や約6400人の教師で構成される Social Studies Educators Network of Canada (SSEN) が展開

※Truth and Reconciliation Commission (TRC) が特に問題視する先住民寄宿学校制 (強制) が1920年に施行

3. 結果

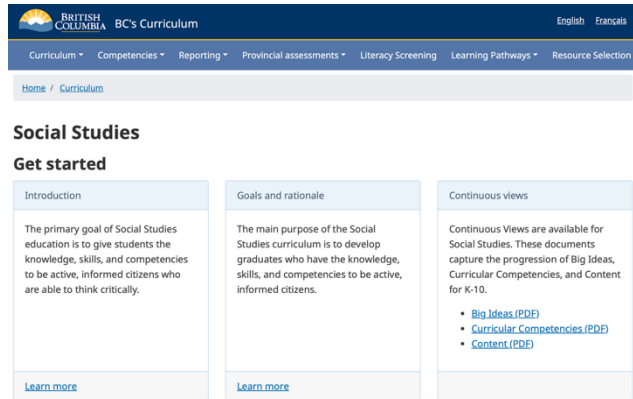
結果①

BC州

州カリキュラム



教科書構成



【出典】BC州教育省HP (<https://curriculum.gov.bc.ca/curriculum/social-studies>)

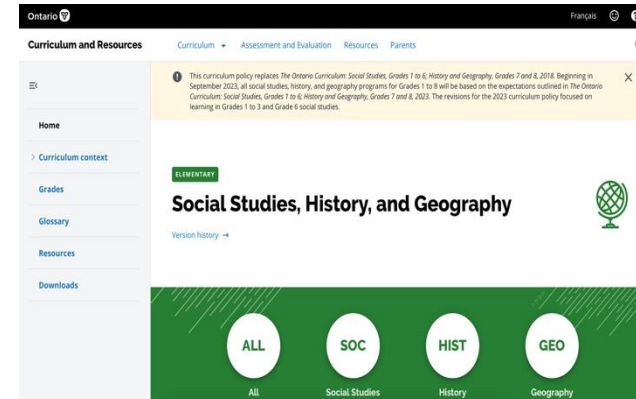
結果②

ON州

州カリキュラム



単元構成



【出典】ON州教育省HP (<https://www.dcp.edu.gov.on.ca/en/curriculum/elementary-sshg>)

結果③

MB州

コンサル, 研究者



州カリキュラム



【出典】MB州教育省HP (https://www.edu.gov.mb.ca/k12/cur/socstud/history_gr11/)

結果④

SSEN

広域教育団体



推奨カリキュラム



【出典】Social Studies Educators Network of Canada HP (<https://ssencressc.ca>)

結果①: BC州・初等社会科におけるビッグアイデアの一覧

学年	ビッグアイデア			
就学前 アイデンティティと家族	私たちのコミュニティは多様でありながら、多くの共通点を持つ個人で構成されている。	私たち自身や家族に関する物語や伝統は、私たちが誰であり、どこから来たのかを反映している。	権利、役割、責任は私たちのアイデンティティを形成し、他者との健全な関係構築を助ける。	
1年生 地域コミュニティ	健全なコミュニティは個人の多様性を認識し尊重し、地域の環境を大切にしている。	私たちは地域環境を形成し、地域環境は私たちの在り方や生き方を形作る。	私たちの権利、役割、責任は、強固なコミュニティ構築にとって重要である。	
2年生 リージョナル&グローバルなコミュニティ	カナダは多様な地域とコミュニティから成り立っている。	地域の行動は地球規模の結果をもたらす、地球規模の行動は地域的な結果をもたらす。	個人は地球市民として権利と責任を有す。	
3年生 グローバルな先住民族	先住民族について学ぶことは、多文化への理解と多様性への尊重を育む。	先住民の知恵は口承の歴史、伝統、集合的記憶を通じて受け継がれる。	世界中の先住民族社会は、自己、土地、精霊、祖先の幸福を重視する。	多様な文化や社会に属する人々は、共通の経験や生活の側面を共有している。
4年生 先住民族とヨーロッパ人との接触	先住民族とヨーロッパ人との交流は、対立と協力をもち、今日に至るまでカナダのアイデンティティを形成し続けている。	貴重な天然資源の追求は、カナダの土地、人々、コミュニティを変える上で重要な役割を果たしてきた。	北米における人口動態の変化は、経済的・政治的権力の移行をもたらした。	ブリティッシュコロンビア州はカナダの一部となる過程で独自の道歩んだ。
5年生 カナダの課題と統治	移民と多文化主義は、カナダの社会とアイデンティティを形作り続けている。	天然資源はカナダの各地域の経済とアイデンティティを形作り続けている。	カナダの少数民族に対する政策と扱いは、否定的な遺産と肯定的な遺産を残している。	カナダの制度と政府は、地域的多样性という課題の反映である。
6年生 グローバルな課題と統治	メディアの情報源は、重要な出来事や問題に対する私たちの理解に、良い面も悪い面も影響をもたらしている。	経済的利己主義は、国民や政府間の紛争の重大な原因となりうる。	政府の体制は人権と自由の尊重度において差異がある。	複雑な地球規模の問題は、将来に向けた困難な選択を行うために国際協力が必要である。

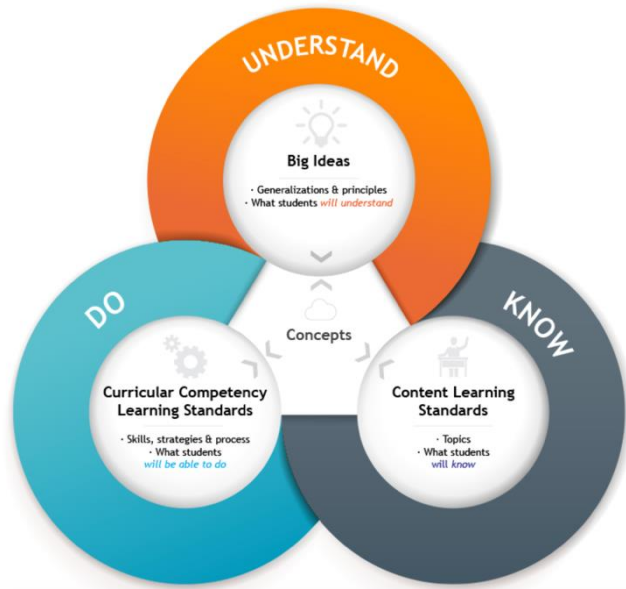
結果①: BC州・中等社会科におけるビッグアイデアの一覧

学年	ビッグアイデア			
7年生 古代から7世紀まで	この時期に生まれた宗教的・文化的慣習は持続し、今も人々に影響をもたらし続けている。	地理的条件は文明の出現を形作った。	複雑化する社会は新たな法体系と統治システムを必要とした。	経済の分業と貿易ネットワークは、社会間の対立と協力をもたらしうる。
8年生 7世紀から1750年まで	探検, 拡大, 植民地化は, 異なる集団にとって, 様々な結果をもたらした。	人的・環境的要因は人口変動と生活水準の変化を左右する。	世界観の変化は, 新思想を受け入れたい者と確立された伝統を守りたい者との間に緊張を生んだ。	人々の接触と衝突は, 文化的・社会的・政治的変革を大きく促進した。
9年生 1750年から1919年まで	集団的アイデンティティは構築されるものであり, 時間とともに変化する。	物理的環境は政治的・社会的・経済的変革の性質に影響をもたらす。	新たに台頭する思想やイデオロギーは社会や出来事に深い影響をもたらす。	力の格差は, 個人間および社会間の関係バランスを変化させる。
10年生 1914年から現在まで	歴史的・現代的な不正義は, 包摂的で多文化的な社会としてのカナダの物語とアイデンティティに挑戦を突きつけている。	政治制度の発展は経済的・社会的・思想的・地理的要因の影響を受ける。	世界観の違いはカナダ社会の発展に関する見解や考え方の相違につながる。	地球規模および地域的な紛争は, 現代世界と私たちのアイデンティティを形成する強力な力となってきた。

【特徴的な構文のパターン】

- 「…にとって重要である」「…を重視する」「…を大切にする」「重大な…」⇒「意義」の記述
- 「…に影響をもたらす」「…は…な結果をもたらした」「…は…を形作る」⇒「原因と結果」の記述
- 「…し続けている」「…受け継がれる」「…変化させる」「…促進した」⇒「継続性と変化」の記述

結果①: BC州におけるビッグアイデアの関連要素, 示し方



第4学年カリキュラム「先住民族とヨーロッパ人の接触」の場合

貴重な天然資源の追求は、カナダの土地、人々、コミュニティを変える上で重要な役割を果たしてきた。

先住民族とヨーロッパ人との交流は、対立と協力をもたらし、今日に至るまでカナダのアイデンティティを形成し続けている。

北米における人口動態の変化は、経済的・政治的権力の移行をもたらした。

ブリティッシュコロンビア州はカナダの一部となる過程で独自の道を歩んだ。

ビッグアイデアは、一般論や原則、分野において重要な概念から構成されている。

ビッグアイデアは、生徒が学年のカリキュラム修了時に理解する内容を表している。それらは将来にわたる理解として役立つ。

【出典】BC州教育省HP, BC's Curriculum Overview (2016~) (<https://curriculum.gov.bc.ca/curriculum/overview>)

- ◆ 社会科の探究プロセスとスキルを活用して質問をつくり、アイデアを収集・解釈・分析し、発見や決定を伝える。
- ◆ 個人や集団、場所、出来事、発展の重要性を示す議論を構築する。(意義)

【鍵となる問い】BCの発展の物語において、最も重要な出来事は何か？
ダグラス・ジェームズは、BCの父として記憶すべきか？
BCが連邦に加盟した最も重要な理由は何か？

- ◆ 様々な情報源の内容と起源について質問し、推論を裏付け、結論を導き出す。(証拠)
- ◆ 事象、イメージ、出来事を順序づけ、異なる時間や場所の間の継続性と変化を判別する。(継続性と変化)
- ◆ 出来事、決定、発展の意図された結果と意図しない結果を区別し、代替的な結果について推測する。(原因と結果)
- ◆ 異なる時代や場所における人々が一般的に抱く態度、価値観、世界観を捉えた物語を構築する。(視点)
- ◆ 特定の時間や場所の条件を考慮した上で、過去の出来事、決定、行為に関する倫理的判断を下す。(倫理的判断)

- ◆ 先住民族とヨーロッパ系住民の初期接触、交易、協力、対立

【サンプルピック】初期の探検家、クックとバンクーバーの航海、ヨーロッパ人による先住民族への拳銃の提供、馬の草原への拡散、先住民族とヨーロッパ人の結婚、先住民族とヨーロッパ人の紛争と同盟
【鍵となる問い】探検家や入植者がカナダに来た動機は何か？

- ◆ 連邦成立前のカナダおよびブリティッシュコロンビア州における毛皮交易
- ◆ 連邦成立前のブリティッシュコロンビア州における先住民族コミュニティと非先住民族コミュニティ双方の人口動態変化
- ◆ ブリティッシュコロンビア州の植民地化と連邦加盟に影響を与えた経済的・政治的要因
- ◆ 植民地化がカナダおよびブリティッシュコロンビア州の先住民族社会に与えた影響
- ◆ 地域社会、地域先住民族コミュニティの歴史
- ◆ カナダの地形学的特徴と天然資源

【出典】BC州教育省HP, BC's Curriculum Social Studies 4 (2016~) (<https://curriculum.gov.bc.ca/curriculum/social-studies/4/core>)

結果①：BC州対応の教科書構成 - 第4学年・第3单元「インパクトを判断しよう」の場合 -

導入ページ：ビッグアイデアの明示

单元名	問い	ビッグアイデア
植民地化は先住民族にどのような結果をもたらしたか？	クウェ族の酋長とジェームズ・ダグラスの出会い	先住民とヨーロッパ人との交流は、対立と協力をもたらし、今日に至るまでカナダを形成し続けている。
物語		この物語は、1966年にリゼット・ホールによって語られました。彼女は父からこの口承史を聞き、父は祖父であるクウェ族長からこの物語を聞きました。物語を読んだ後、どのような疑問が浮かびましたか？
発見しよう		BC州の探究 植民地化の結果を探ろう
<ul style="list-style-type: none"> 先住民族にとっての植民地化の結果 植民地化がブリティッシュコロンビア州に与えた影響 先住民族が自分たちの文化や言語を保護する方法 病気が社会をどのように変えるか 		もし植民地化の結果として先住民族に何が起きたかを人々に伝えるとしたら、何を話す？

展開ページ：専門家の思考体験

歴史家のように考えてみよう	文書は、どのように過去を明らかにするか？
歴史家は一次史料を扱う。一次史料とは、過去に作成または使用された遺物や文書である。以下の資料：カムループス岩の主任貿易員ジョン・トッドによって1842年に記された日記もその一つである。(省略)	例えば、ジョン・トッドはメティスのジャン＝パティスト・ロロがセクウェムク人労働者グループを率いてカムループス岩再建を支援したと記している。トッドは彼らが「弾薬やビーズ、ナイフ、タバコなどの小物品」で報酬を受けたと記録している。この記述から何がわかるか？
歴史家は、文書資料から二つの方法で情報を得る。 1. 記載内容を読む。 2. 記載されていないことを推論する。推論とは、行間を読むようなもので、すでに知っている情報に基づいて合理的な結論を導くことだ。	1. 記述内容：労働者には弾丸、ビーズ、ナイフ、タバコが支払われた。 2. 推論：金銭での支払いはなかっただろう。
1842年の日記	1843年の日記
	1843年、トッドは深刻化する危機を記している。サケの漁獲量が激減している。事態は好転しそうにない。

終結ページ：重要用語の概念化

植民地化がもたらした4つの長期的な結果	
寄宿学校 子どもたちは家族から引き離され、学校へ送られた。目的は彼らの文化的アイデンティティを喪失させることだった。子どもたちは母語を話すことや伝統を実践することを禁じられた。多くの子どもたちがひどい虐待を受けた。	結果 寄宿学校に通った子どもたちは、家に帰っても馴染めず、結果として家族が崩壊した。時が経つにつれ、自らの言語を話す者、自らの物語を知る者、自らの伝統を実践する者は少なくなった。コミュニティ全体が影響を受けた時、何が起こるだろうか？
奪われた土地と資源 BC州の先住民族とはほとんど条約が結ばれなかった。政府は彼らの伝統的な領土を人種者に売却した。森林資源、鉱物資源、魚介類が土地から奪われた。利益の何一つとして先住民族には還元されなかった。	結果 先住民族は、伝統的な領土を失えば土地から生計を立てられなくなる。土地から収入を得られなくなる。数十億ドル相当の木材や鉱物が失われた。人々の生活の質にどのような影響を与えるだろうか？
儀式的禁止 インディアン法はボラッチのような伝統的な儀式を禁止した。先住民族はトーテムポールや仮面、儀式用のロープを作ることを控えるよう促された。禁止令は1951年まで続いた。	結果 禁止令のため、先住民族の子どもたちは長老から自文化を学ぶ機会が減った。歌や踊りを習わず、儀式を見ることもなかった。もし子どもたちが儀式を見なければ、どうなるだろうか？
人種差別 多くの入植者は、先住民族を蔑下した。彼らは先住民族の生活や信仰が自分たちと異なるという理由で、先住民族を未開だと呼んだ。	結果 人種差別は、先住民族の雇用や教育の機会を減少させることで影響を与えた。今日でも先住民族は自らの出自ゆえに不当な扱いを受けることがある。なぜこのような結果がこれほど長く続くのだろうか？

省察ページ：探究の意味づけと発展

単元の学びをふり返ろう	BC州の探究
植民地化は先住民族にどのような結果をもたらしたか？ 以下の問いを1つ以上を選んで自分の考えや学びを任意の方法で示してください。 ・先住民(ファースト・ネーションズ、メティス、イヌイト)の生活の一面は、時間とともにどのように変化したか？接触前の生活、接触後の過去の生活、そして現代の生活について考えてください。 継続性と変化 ・植民地化の中で、先住民族の生活に最も大きな影響を与えた要素は何か？その選択理由をいくつか挙げてください。 歴史的意義 ・植民地化の結果について、別の事例として何を学んだか？その問題と、それに対して行われている取り組みを理解していることを示してください。 倫理的判断	「全国先住民の日」は毎年6月21日に開催されます。あなたが町の次の「全国先住民の日」祝賀行事の手伝いを依頼されたらと仮定してください。主催者は、植民地化の結果として先住民族が経験したことを人々に伝えるための支援を必要としています。過去に先住民族が経験した出来事を振り返ってください。彼らの生活がどのように変化してきたかを考えてみてください。彼らが自らのアイデンティティを守り続けた様々な方法について考えてみましょう。人々に知ってほしい最も重要な事柄を1つか2つ挙げてください。なぜそれらを理解してほしいのかを考えてみましょう。焦点を当てる変化を決められたら、それをどのように共有するか考えましょう。例えば、演劇したり、ポスターを作成したり、タブレットで表示できるデジタルプレゼンテーションを作成したりする方法があります。
責任を持つ なぜ私たち全員が先住民族の歴史について学ぶことが重要なのでしょうか？あなたが学んだことで、他の人にも知ってほしいと思うことを一つ考えてみましょう。家族や友人と共有してください。	探究をはじめるとあなた
やってみよう ・知識を深めるため、さらに調査をしましょう。 ・地元コミュニティについて答えをまとめましょう。 ・質問への答えとして物語を活用することを考えてみましょう。 ・答えを補強するために、絵や地図、写真を活用しましょう。	効果的なコミュニケーション □ プレゼンテーションを楽しく表現しよう。 □ 大きなアイデアを際立たせよう。 □ 写真や色を使って人々の興味を引こう。 □ 参加者が帰るときに考えさせられるものを提供しよう。

結果②: ON州・初等社会科におけるビッグアイデア一覧

【出典】ON州教育省HP,
Elementary curriculum,
Social Studies, History,
and Geography (2023~)
(<https://www.dcp.edu.gov.on.ca/en/curriculum/elementary-sshg>)

学年	ビッグアイデア (※紙幅の関係でA項目:ヘリテージとアイデンティティ, 歴史項目に限定)
1年生 A: 私たちの変化する役割と責任 B: 地域社会	A1: 人々の役割, 責任, 人間関係は, 時間とともに, 様々な状況で変化する。 A2: 人々の役割, 責任, 人間関係は, アイデンティティの形成に影響を与える。 A3: すべての人は, 役割, 責任, 人間関係とは別に, 尊敬に値する。
2年生 A: 家族とコミュニティの伝統を変える B: グローバルなコミュニティ	A1: 家族間や地域社会に存在する多様性を理解することは, 多様な視点への感謝の念につながる。 A2: 今日私たちが祝う伝統は, 世代を超えて発展してきた。 A3: カナダは, 多様な伝統や祝祭を持つ様々なコミュニティから構成されている。
3年生 A: カナダのコミュニティ(1780-1850) B: オンタリオ州での生活と仕事	A1: 19世紀初頭のカナダにおける様々なコミュニティは, 今日の私たちの生活様式に影響を与えている。 A2: 社会的・環境的課題は, 19世紀初頭のカナダにおける全てのコミュニティの生活の重要な要素だった。 A3: カナダは既に1800年に多文化社会だった。
4年生 A: 原始から1500年まで B: カナダの政治的・物理的な地域	A1: 過去を探究することにより, 現在をよりよく理解することができる。 A2: 環境は原始から1500年までの過去における日常生活に大きな影響を与えた。 A3: 原始から1500年までの過去の社会は, 全て同じだったわけではない。
5年生 A: 1713年以前の先住民とヨーロッパ人の関係 B: 政府の役割と責任あるシチズンシップ	A1: 人と人との相互作用は, ある人にとっては肯定的な結果となり, 別の人にとっては否定的な結果をもたらすことがある。 A2: 人々の集団間の相互関係を探究する際には, 各集団が独自の見解を持っていることを認識しておくことが大切である。 A3: 協力と対立は, 人間の相互作用や相互関係に内在する側面の一つである。
6年生 A: カナダのコミュニティ, 過去と現在 B: カナダとグローバルなコミュニティの交流	A1: 多くの異なるコミュニティがカナダの発展に重要な貢献をしてきた。 A2: 異なるグループは, 同じ展開や出来事を異なる方法で経験することがある。 A3: 様々なコミュニティにおける重要な出来事は, それぞれのコミュニティやカナダのアイデンティティの形成に寄与する。
7年生 歴史A: 1713~1800年, 歴史B: 1800~1850年 地理A: 土地変化, 地理B: 持続可能な資源利用	A1: 過去に人々が経験し, 直面した課題を理解することは, 私たちの経験や課題を過去の文脈に位置づけることに役立つ。 A2: 様々なグループは, カナダにおけるフランスからイギリスへの権力移行に対して, 異なる方法で対処した。 A3: 歴史的な事象の重要性は, 短期的・長期的な影響によって部分的に決定される。 B1: カナダの歴史がそうであったように, 人々は課題に立ち向かうことや生活を向上させることに苦闘してきた。 B2: 19世紀前半は, カナダにおいて大きな紛争と変化の時代だった。 B3: 19世紀前半の社会的・政治的対立と変化は, カナダに永続的な影響を与えてきた。
8年生 歴史A: 1850~1890年, 歴史B: 1890~1914年 地理A: 持続可能な居住, 地理B: 経済発展と生活	A1: カナダの全ての人々が新しい国で同じ権利や特権を享受していたわけではない。 A2: カナダの人々は, 国の創設と拡大に対して, 異なる反応を示した。 A3: 19世紀後半は, 政治的・経済的に大きな変化の時代であり, 様々なグループに異なる影響を及ぼした。 B1: 19世紀末から20世紀初頭のカナダにおける個人・団体の闘争は, 今日私たちが有する複数の権利の基盤を築いた。 B2: 19世紀末から20世紀初頭の期間, 新しい国々からの移民の急増により, カナダ社会の多様性が高まった。 B3: 19世紀末から20世紀初頭の期間に起こった社会的変化は, カナダに永続的な影響を与えた。

【役立ち構文】

【打ち消し構文】

結果②: ON州におけるビッグアイデアの構成要件

【出典】ON州教育省HP, Elementary curriculum, Curriculum context (2023~)
 (https://www.dcp.edu.gov.on.ca/en/curriculum/elementary-ssgh/context)

ビジョン	社会科, 歴史, 地理, カナダ及び世界研究のプログラムは, 児童生徒が所属する多様なコミュニティにおいて, 責任ある活動的な市民となることを可能にする。包括的な社会を尊重する批判的思考力と情報に基づいた判断力を備えた市民となるだけでなく, 重要な発展, 出来事, 問題に関する課題解決や意見・決定の伝達に必要なスキルを身につける。
ゴール	<ul style="list-style-type: none"> ● 「学問的思考の概念」を用いて問題・出来事・発展を調査する能力を養う ● 情報と証拠を評価し判断を下すための適切な規準を決定・適用する能力を養う ● 専門分野特有の探究に必要なスキルと個人の資質を育成し, それらを人生の他の領域へ転用できるようにする ● 協動的・協力的な関係を構築する ● 情報を収集・分析し, 問題を解決し, 意思疎通を図るためのツールとして適切な技術を活用する

シティズンシップの枠組み		
中核要素	資質・能力を育む探究方法	重要用語
積極的参加 ～地域, 国家, 国際社会における公益のための活動～	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域社会問題について情報に基づく意見を表明する ● 地域社会で指導的役割を担う ● 地域社会に参加する ● 論争的な問題を調査する ● 協動的かつ革新的な問題解決を示す ● 多様な個人やグループと良好な関係を構築する 	意思決定と投票, 影響力, 紛争解決と平和構築, 和解, 相互性, 擁護活動, 管理責任, リーダーシップ, ボランティア活動
アイデンティティ ～様々なコミュニティの一員としてのアイデンティティ～	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域・国家・地球規模のコミュニティとのつながりを認識する ● 市民としての自己像を描く ● 他者の視点を考慮し尊重する ● 発展・出来事・問題の道徳的・倫理的側面を調査する 	相互関連性, 信念と価値観, 自己効力感, 文化, 視点, コミュニティ, 人間関係
属性 ～性格特性, 価値観, 思考習慣～	<ul style="list-style-type: none"> ● 個人と社会の権利・責任に関連する課題を探究する ● 自尊心, 他者への敬意と共感を示す ● 市民活動に参加する ● 協力的かつ批判的思考に基づく活動に取り組む 	包摂性, 公平性, 共感と尊重, 権利と責任, 自由, 社会的結束, 正義, 公正性, 真実, 市民性, 協働と協力
構造 ～社会における権力とシステム～	<ul style="list-style-type: none"> ● 規則や法律の重要性についての理解を深める ● 政治的・経済的・社会的制度が生活に与える影響についての理解を深める ● 権力動態についての理解を深める ● システム内・間の動的で複雑な関係性を理解する 	民主主義, 自己決定, 規則と法律, 制度, 権力と権威, 安全保障, システム

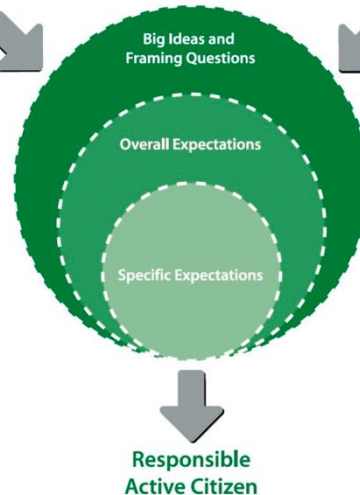
Connecting the Pieces



学問的思考の概念					
カリキュラムの基盤となり, 教室外の生活でも批判的に思考するツール					
社会科	歴史	地理	政治	経済	法
意義	歴史的意義	空間的意義	政治的意義	経済的意義	法的意義
原因と結果	原因と結果		目的と結果	原因と影響	
継続性と変化	継続性と変化		安定性と変化		継続性と変化
様式と傾向		様式と傾向		安定性と変動性	
相互関係		相互関係			相互関係
視点	歴史的視点	地理的視点	政治的視点	経済的視点	法的視点

Applying the Concepts of Disciplinary Thinking throughout

Using the Inquiry Process and Spatial Skills throughout



探究プロセス	探究スキル	<ul style="list-style-type: none"> ● 質問の形成 ● 情報・証拠・データの収集と整理 ● 情報・証拠・データの解釈と分析 ● 情報・証拠・データの評価と結論の導出 ● 調査結果の伝達
	空間スキル	<ul style="list-style-type: none"> ● 図表リテラシー: 地図, 地球儀, グラフなどから情報を抽出・分析・構築する ● 数学的リテラシー: 異なる種類のデータがある理由や縮尺間隔の変化がその意味に与える影響を理解する ● テクノロジー: GISを含むICTを活用する

結果②：ON州におけるビッグアイデアの示し方

【出典】ON州教育省HP, Elementary curriculum, Grade 7 History (2026~), 特にCurriculum contextおよびExpectations by strandを参照, 赤枠は発表者による強調
(<https://www.dcp.edu.gov.on.ca/en/curriculum/elementary-sshg/grades/history-g7/overview>)

ビッグアイデアとは、永続的な理解を指し、生徒たちが学んだ内容の詳細を忘れた後も、深く掘り下げ、長く保持してほしいと願う考え方である。「なぜこれを学ぶのか?」「何が重要なのか?」といった根本的な問いに向き合う。ビッグアイデアの探究を通じて、学習者は受動的な情報の受け手ではなく、自らの理解の創造者となるよう促される。多くのビッグアイデアは、他教科へ、広く人生そのものへ応用可能であり、統合的な方法で学際的に考える機会を提供する。

第7学年カリキュラム「A項目：遺産とアイデンティティ」の場合

全体的な期待	学問的思考の概念	ビッグアイデア	探究を誘う問い	探究プロセス
【A1】1713年から1800年にかけてのカナダにおけるファースト・ネーションズ、メティス、イヌイットコミュニティを含む様々な集団やコミュニティの経験の側面を分析し、現代カナダの人々の生活と比較する。	継続性と変化、 歴史的視点	過去に人々が経験し、直面した課題を理解することは、私たちの経験や課題を過去の文脈に位置づけることに役立つ。	● 私たちは、かつてのカナダの人々が経験したのと同じ課題に直面しているだろうか?どのような発展が、過去の人々とは異なる方法でそれらに対応することを可能にしているのか? ● なぜ異なる人々が同じ出来事を異なる方法で見るのだろうか? ● 歴史的に重要なものをどのように決定するのか?	● 同盟関係を示す政治地図の分析と作成(例:A2.4参照) ● 入植パターンや領土拡大に関連する人口分布図の分析(例:A2.4参照) ● 異なる集団の移動パターンや移住を示すフローマップの分析と作成(例:A2.4参照)
【A2】歴史的探究プロセスを用いて、フランスからイギリスへの植民地カナダの権力移行に関連する重要な出来事、発展、問題について、ファーストネーションズ、メティス、イヌイットコミュニティを含む異なる集団やコミュニティの視点を調査する。	歴史的意義、 歴史的視点	様々なグループは、カナダにおけるフランスからイギリスへの権力移行に対して、異なる方法で対処した。		
【A3】1713年から1800年のカナダにおける様々な重要な人物、出来事、発展(条約を含む)を説明し、その影響を説明する。	歴史的意義、 原因と結果	歴史的出来事的重要性は、短期的・長期的な影響によって部分的に決定される。		

↓ A3の場合、A3.1~A3.9まで9つの具体的な期待項目が列挙されている。カリキュラム改訂に合わせてA3.7が追加されている。

具体的な期待	取り扱う事例(合計12点のうち6点を抜粋)	発問例(合計7点のうち3点を抜粋)
【A3.7】 奴隷制度など、カナダにおける様々な黒人の個人やコミュニティの生活経験や定住に影響を与えた重要な出来事や展開について述べている。	<ul style="list-style-type: none"> ● ラウドー条約、ニュー・フランスにおける奴隷制度の合法化 ● アフリカ系の奴隷をカナダ植民地へ連れてきたイギリス人とアメリカ人の入植者 ● アメリカ独立革命後の黒人忠誠派の経験、そして黒人忠誠派の集落の創設 ● 奴隷化がマリー＝ジョゼフ・アンジェリックとペギー・ポンパドールに与える個別の影響の違い ● シェルバーン人種暴動 ● 黒人個人やコミュニティに影響を与えた差別的な法律や慣行 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自由な黒人アフリカ人であるマチュー・ダ・コスタは、北米の初期探検においてどのような役割を果たしたか?その役割はどれほど重要だったのか? ● マリー・マルグリット・ローズは、黒人、特に女性が起業へのアクセスを拒まれていた時期に、どのようにして障壁を乗り越えて事業主となったのか?彼女の事業創造は、アフリカに見られる伝統文化の中で、経済・貿易における女性の顕著な役割をどのように反映しているか? ● この期間、カナダで奴隷にされた黒人はどのように扱われたか?カナダに到着した黒人の個人や家族は、逃亡者として異なる扱いを受けていたか?

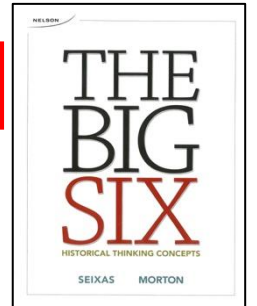
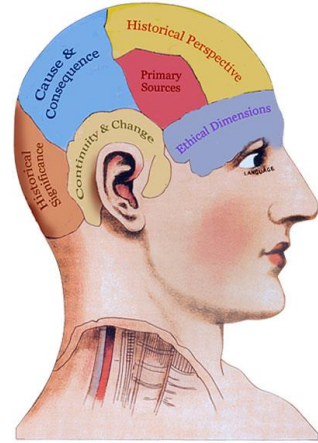
結果③: MB州におけるビッグシンキングの策定

【出典】MB州教育省HP, Grade 11 History of Canada (2014~),
特にContents, pp. iii -vii参照

(https://www.edu.gov.mb.ca/k12/cur/socstud/history_gr11/)

※Big sixのイラストはHistorical Thinking ProjectのHPより複写
(<https://historicalthinking.ca/historical-thinking-concepts>)

第11学年カリキュラム「カナダの歴史」の場合: マイノリティの視点を補完するコンサルタント, 特定の研究者の影響



段階	学年	社会科のテーマ
初等前期	K	いっしょにいる
	1	つながりと所属
	2	カナダのコミュニティ
	3	世界のコミュニティ
	4	マニトバ州, カナダ, 北部: 場所と物語
初等後期	5	1867年までのカナダの人々と物語
	6	1867年から現在までの変化する国家としてのカナダ
	7	世界の人々と場所
	8	過去の外国の社会
中等	9	現代の世界におけるカナダ
	10	次のうち1つ選択: 「21世紀の地理的問題」「アメリカの歴史」
	11	カナダの歴史
	12	次のうち1つ選択: 「国際問題」「世界地理」「西洋文明」「近代史の証人としての映画」「先住民研究の現在」「カナダの法律」「土地と条約」

Principal Writers	Name	Role
	Linda Connor	Social Studies Curriculum Consultant
	Al Friesen	Social Studies Curriculum Consultant
	Renée Gillis	Social Studies Curriculum Consultant, Bureau de l'éducation française
	Claude Michaud	Social Studies Curriculum Consultant, Bureau de l'éducation française
	Linda Mlodzinski	Social Studies Curriculum Consultant and Manager
	Greg Pruden	First Nations, Métis and Inuit Perspectives Consultant
Academic Advisors	Name	Role
	Ken Osborne	Professor Emeritus, Faculty of Education, University of Manitoba
	Peter Seixas	Professor, Faculty of Education, University of British Columbia
	Jean-Marie Taillefer	Professor, Université de Saint-Boniface

章	タイトル	ページ数
I	Introduction	25
II	Course Overview	48
III	Course Content	140
IV	Historical Thinking Concepts	62
-	Resources	8

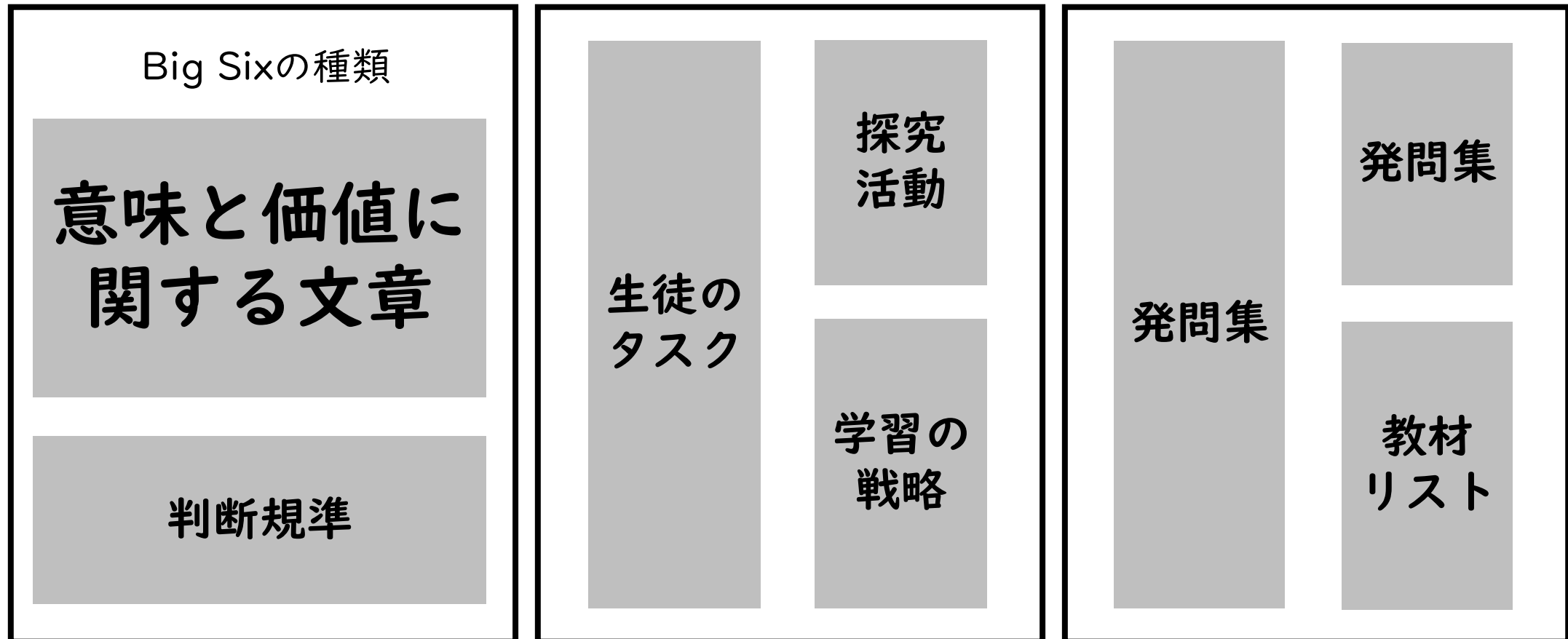
結果③：MB州におけるビッグシンキングの示し方

第11学年・導入単元「歴史とは何か、なぜ私たちは歴史を学ぶのか」の場合

1 ページ目：概念化

2 ページ目：構造化

3 ページ目：多様化



+教材リストに当たるワークシートが数枚付属しており、1つのビッグシンキングにつき5～8ページ構成 | 7

結果③:MB州におけるビッグシンキングの示し方-歴史的意義の場合-

意味と価値に関する説明

過去とはあらゆる場所でこれまでに起こったすべての出来事である。過去は歴史として記録されるが、記憶するには多すぎる。では、何を記憶に値する選択をするのか?重要な出来事には、長期間にわたり多くの人々に大きな変化をもたらしたものが含まれる。この意味で、第二次世界大戦のような出来事は歴史的意義の規準を満たすだろう。しかし労働者や奴隷の人生に、いったい何が重要と言えるだろうか?私にとって明らかに重要だが、他者にとっては必ずしも重要ではない私の祖先たちはどうか?重要性は視点と目的に依存する。歴史家である私たちが現代の私たちにとって重要な何かを明らかにする大きな潮流や物語と結びつけることができれば、歴史上の人物や出来事は重要性を獲得し得るのだ。例えば、第二次世界大戦の歴史に比べれば取るに足りないと思われる1918年のウィニペグにおける一人の労働者の物語も、労働者の闘争、経済発展、あるいは戦後の調整と不満といったより大きな歴史の一部として語られるならば、意義を持つようになるかもしれない。その場合「取るに足りない」人生は私たちにとって重要な何かを明らかにし、それゆえに意義を持つようになる。「歴史書に載っているから重要だ」という説明も、「私が興味を持っているから重要だ」という説明も、歴史的意義についての不十分な説明である。

判断規準

1. 過去における出来事・人物・発展であり、長期間にわたり多くの人々にとって深遠な結果をもたらす変化を生むもの。
2. その出来事・人物・発展が、歴史や現代の生活における永続的な課題や新たな課題に光を当てている、あるいは集団的記憶として歴史上の特定の段階で重要であったもの。

探究活動

生徒は、歴史家の役割を担い、カナダの歴史において最も重要な10の出来事・人物・発展を決定する。小グループで、歴史的対象の多様性を示す注釈付き画像(例:写真、文書)を分析し、10の最も重要なものについて合意を形成し、その選択理由を説明する。

学習戦略

1. 教師は、カナダの歴史における多様な出来事・人物・発展を表現する注釈付き画像(例:写真、文書)のセット(25~30点)を準備します。各画像には、画像の背景情報を提供する短いキャプションを付記する。
2. 小グループで、生徒は25~30点の画像セットを分析する。生徒はコレクションについて議論し、最も歴史的に重要な10件について合意を形成する。生徒は、選択の理由を説明します。生徒は、選択の理由を説明する。
3. グループは、ガイドとなる質問に基づいて選択を見直し、10の最も重要な出来事のリストを確認または修正する。
4. グループは、クラスに報告し、10の最も重要な歴史的対象の選択理由を説明する。そして、グループごとに比較する。
5. 生徒は、グループが選択した10の最も重要な歴史的対象のうち1つを選択し、ガイドとなる質問を使用して詳細に分析する。

ガイドとなる質問(発問)集

1. その出来事、人物、発展は歴史的に重要ですか?もしそうなら、なぜですか?
2. その出来事、人物、発展を重要と考えるのは誰で、その理由は何ですか?
3. その出来事、人物、発展の重要性について歴史家は何と言っていますか?歴史家は重要だとみなしていますか(賛成)?みなしていませんか(反対)?
4. 出来事、人物、発展の歴史的意義を決定する要因は何ですか?
5. 出来事、人物、発展の歴史的意義を確立する上でのメディアの役割は何ですか?
6. 出来事、人物、発展が重要になるために劇的である必要がありますか?意見を述べてください。
7. その出来事、人物、発展は長期的な結果をもたらしましたか?その出来事、人物、発展の影響は、今日でも何かしらの形で明らかになっていますか?
8. その出来事、人物、発展は過去について驚くべきユニークな何かを発見したり明らかにしたりしてくれますか?
9. その出来事、人物、発展はグループや組織、政府によって公式に重要だと認識されていますか?出来事、人物、発展の歴史的意義に関する様々な形式の認識を説明してください(例えば、彫刻、通りの名前、特別な日、博物館など)。そうした形の認識は価値があると思いますか?意見を述べてください。
10. その出来事、人物、発展は歴史的に重要であると公式に認められるべきだと思いますか?それはなぜですか?その出来事、人物、発展をどのような形式で認識すべきだと考えますか?
11. 歴史は勝者によって書かれ、他のすべての声は沈黙していると言われてます(例えば、先住民、女性、民族的・性的少数派など)。こうした沈黙している歴史の意義を判断する方法の例を見つけたり歴史家がこうしたアプローチの変更成功した方法の例を見つけたりしてみましょう。
12. 歴史的に重要な出来事、人物、発展は、関連する物語にどの程度依存していますか?
13. 歴史家/史資料の作者の説明/グループが語ろうとしているのは、誰のどのような物語ですか?

結果④：SSEN推奨団体のカリキュラムにおけるビッグアイデアの策定

2020年に100周年を迎えた独立選挙機関Elections Canada開発単元の場合：
「市民性教育・民主主義教育としての社会科」を促進する広域教育団体の影響



単元名	学年	科目・領域	ビッグアイデア
マスコットの選び方	K-3	All	無し
今と昔の市民活動	S	SS, H, C, SL	市民は、正式な政治プロセスの内外で、様々な方法で行動することができる。実際、市民がとった行動が歴史的変化をもたらしてきた。
民主主義のためのデジタル・スキル	S	SS, C, LA	市民は、政治問題に対して適切な判断を下すために十分な情報を得て、信頼に足る情報かどうかを見極める必要がある。特に連邦選挙で投票方法を決める際には重要になる。
選挙の重要性	S	SS, P, C	市民は、全ての選挙において、投票率が高いか低いかに関わらず、各選挙区で1名が選出され、私たち全員に影響を及ぼす決定を下す権限を持っている。
選挙のシミュレーション	E, S	SS, P, C	市民は、一人ひとりが選挙に参加することで、カナダの民主主義を形成することができる。参加の方法は多様であり、投票以外にも、政党に参加すること、選挙管理事務で働くこと、立候補すること、キャンペーン・ボランティアとして支援することなどがある。
数字で見る選挙	S	LA, SS	市民は、選挙への参加がカナダの民主主義に与える影響を投票率から把握することが重要である。投票率は、時間の経過に伴って変化する。
地理で見る選挙	S	G, SS, C	市民は、有権者コミュニティとして議会で全選挙区を代表する候補者を1名選出する。各連邦選挙区はそれぞれ独自の選挙をすることになる。
選挙区のマッピング	S	G, WI, SS, C	市民は、特定の選挙区で代表者に投票するため、選挙は場所と土地を基盤としている。選挙が公正であるためには、選挙区の境界を決定する際に人文地理と自然地理の両面を慎重に検討する必要がある。
時間の経過に伴う選挙権	S	H, SS, C	市民は、常に全ての人が投票権を有していたわけではない。長い間、特定の集団は選挙から除外され、投票権は特権とみなされていた。現在は、18歳以上のカナダ市民ならば全員が投票権を有している。
連邦・州・地区の選挙	S	SS, P, C	市民は、連邦／州／準州／地区レベルで選挙を経験する。これらの選挙は異なる組織によって異なる条件下で実施され、異なる議員(代表)を選ぶことになるが、その全てに市民は参加する機会がある。

(凡例) 学年：K=就学前, E=初等, S=中等, 科目・領域：LA=言語芸術, SS=社会科, G=地理, H=歴史, C=公民 (Civics or Citizenship), P=政治, WI=世界の問題, SL=サービス・ラーニング

【出典】Elections Canada HP, Learning Resource (<https://electionsanddemocracy.ca/your-classroom/resources>), 黄色ハイライトの単元「今と昔の市民活動」は2018年, 「時間の経過に伴う選挙権」は2022年に開発されたもの, 赤枠は発表者による強調

結果④：SSEN推奨団体のカリキュラムにおけるビッグアイデアの示し方

中等歴史単元「今と昔の市民活動」の場合：「変化をもたらす行動」の探究

探究の問い	ビッグアイデア	コンピテンシー&スキル
どのように行動することで、違いを生むことができるか？	市民は 、正式な政治プロセスの外で、様々な方法で行動することができる。実際、市民がとった行動が歴史的变化をもたらしてきた。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒は、因果関係を批判的に考察し、歴史的事象を理解する。 生徒は、関連する史実を分類し、情報を整理する。 生徒は、投票権に関連する問題を自立的・協働的に探究する。 生徒は、グループやクラスで見解を表明しながら、探究の前後の自身の変容を省察する。
パート	教授学習活動	
導入部 (5分) 日常生活・学校生活を切り口に探究を方向づけ	1. 発問:「学校や地域のコミュニティ,その他の社会で,変えたいことは何か?」「それを変えるために,あなたは何かができるか?」 2. クラス活動:付箋や共同編集アプリ(Google FormsやPadletなど)を用いて回答を表示し,気になる友人とアイデアをシェアする。 3. 課題設定:永続的な変化のために働く人々がいたことを踏まえ,今と昔の市民活動に関する歴史的事例を探究する方向性を確認する。	
展開部 (25分) 分析枠組みを構築し,過去の事例を探究	4. 指示:「アクティブボード」の4象限について,請願活動などを事例に説明する。1つの活動が複数の象限にわたる場合もあることを伝える。 ①個人として参加すること:ボランティア活動や請願書への署名,会議への出席,意見表明など ②グループで協働すること:同志との結社,共同活動の計画や組織など ③公共の支持を広げること:キャンペーン活動,アウトリーチ活動など ④政治システムを実務的に利用すること:政治家に連絡を取る,請願書を提出するなど 5. グループ活動:2つの市民活動の事例(「マニトバ州における女性と投票」に関わる20の出来事カード,「カナダ憲法における先住民の権利と条約の権利」に関わる21の出来事カード)をグループ内で分担して動画視聴し,それぞれの出来事カードが4象限のどこに当てはまる事例かを合意形成する。 6. クラス活動:同じ市民活動の事例を視聴したグループで集まり,4象限のどこに当てはまる事例かを再度合意形成する。あるいは,異なる異なる市民活動の事例を視聴したグループで集まり,お互いの事例の類似点と相違点をボードに整理する。	
終結部 (30分) ビッグアイデアの理解度を自己評価	7. 事例探究の整理と省察:「アクティブボードの4象限のうち1つを取り除いた場合,何が起こるか?」「過去の市民活動の事例は,今日のものと似ているか,それとも異なるか?」 8. 概念化と論争化 :「授業開始時点であなたが知っていた「市民活動」は,探究を通してどのように変化したか?」「市民活動」の4象限を踏まえると,新たに变えたいこと,そのためにあなたにできることは何か?」	
オプション パフォーマンス課題を通して探究を発展	<ul style="list-style-type: none"> 3つのHTCs(変化と継続性,原因と結果,倫理的次元)を用いて,クラスやグループにとって重要な課題を取り上げ,市民活動計画書を作成する。その際,個人的な意思表示(個人として参加する)だけではなく,課題意識を共有する友人や家族と連帯し(グループで協働する),メディアを活用したり(公共の支持を広げる),校区の議員や学校理事にメールを送付したりする(政治システムを実務的に利用する)など,4象限を意識して多様なアプローチを検討する。 	

結果④：SSEN推奨団体のカリキュラムにおけるビッグアイデアの示し方

中等歴史単元「時間の経過に伴う選挙権」の場合：「包摂と排除」の探究

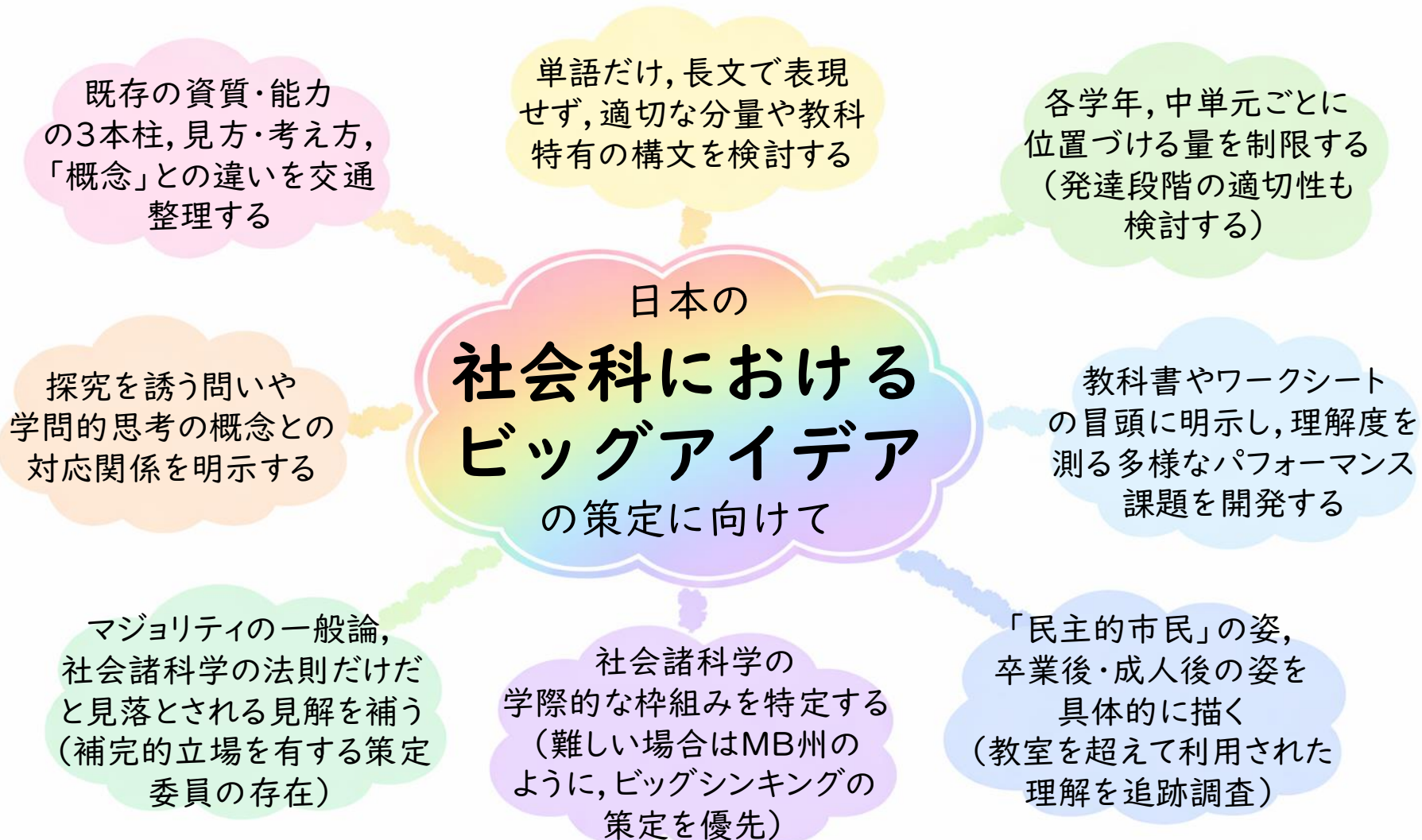
探究の問い	ビッグアイデア	コンピテンシー&スキル
私たちの地域の民主主義は、どの程度包摂的か？	市民は、常に全ての人が投票権を有していたわけではない。長い間、特定の集団は選挙から除外され、投票権は特権とみなされていた。現在は、18歳以上のカナダ市民ならば全員が投票権を有している。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒は、歴史的な事象を分析し、情報を整理し、批判的に思考する。このプロセスには、一時資料を調査し、出来事を年代順に並び替え、包摂と排除に関わる出来事の重要度を階層化し、潜在的な転換点を特定するスキルが含まれる。 生徒は、意思決定において合意に達するために協力する。 生徒は、時間の経過に伴う投票権の公正性 (fairness)・公平性 (equity) の問題を検討する上で、市民的スキルを応用する。 生徒は、グループやクラスで見解を表明しながら、探究の前後の自身の変容を省察する。
パート	教授学習活動	
導入部 (10分) 日常生活・学校生活を切り口に探究を方向づけ	<ol style="list-style-type: none"> 発問:「何かから排除されたと感じたことはないか?」「そのとき、どのように感じたか?」「誰かが、何かをしてくれたか?」 クラス活動:具体的な出来事の詳細は書かず、感情や行動だけを付箋に簡単に書く。それらをボードに貼って、「包摂と排除」を検知するための判断規準をクラスで構築する。 課題設定:構築した規準を踏まえ、連邦選挙における投票権の包摂と排除に関する歴史的事例を探究する方向性を確認する。 	
展開部 (30分) 分析枠組みを構築し、過去の事例を探究	<ol style="list-style-type: none"> 指示:グループごとに「アクティビティ・カード(カテゴリー:ファースト・ネーションズ、イヌイト、日系カナダ人、女性、若者)」を配布する。それぞれのカードセットには、10~15枚の出来事カード(1867年~現在)とそれらの出来事を総括した1枚の前後関係カードが入っている。 グループ活動:グループごとに「包摂に関わるタイムライン」と「排除に関わるタイムライン」を作成する。グループの代表が前後関係カードを声に出して読んだ後で、それぞれの出来事カードを並び替える。最後に、「転換点フレーム」を用いて、タイムラインの中で方向性やペースが変化した時点となる重要な出来事を特定する。 クラス活動:各グループの考察を共有するため、クイックシェア(近くの友人と共有)、ギャラリーウォーク(クラスを移動しながら観察)、ウォーキングジグソー(番号を割り振り別のグループで共有)、ステーションローテーション(授業期間を空けて異なる事例を観察)などを選択する。 	
終結部 (20分) ビッグアイデアの理解度を自己評価	<ol style="list-style-type: none"> 事例探究の整理と省察:「タイムラインに位置づけるのが最も難しかった出来事カードはどれだったか?」「カナダの包摂と排除に関わる歴史の中で、どの出来事があなたにとって驚きだったか?」「特定の出来事に関して、さらに調べてみたい問いはないか?」「投票権を得ることは、常に民主主義への包摂を意味するか?」 概念化と論争化:「カナダの民主主義をより包摂的にするために、さらなる変更は必要か?」 	
オプション パフォーマンス課題を通して探究を発展	<ul style="list-style-type: none"> 5つのHTCs(変化と継続性、歴史的視点、原因と結果、歴史的意義、倫理的次元)を用いて、過去の個人の行動を検証する。特に「継続性と変化」という概念を用い、出来事を単に時系列順に並べるのではなく、出来事間の方向性やペースの変化に注目させる。その上で、個人的・政治的意思決定、その他の社会的・経済的要因を分析させ、現在に生きる市民に連続する責任を判断させることができる。 	

4. 考察



5. 示唆

規範的・原理的研究



開発的・実践的・実証的研究